

「四季折々の景観を楽しむ。」

先日、私は福岡市の天神地区で行われた NPO（特定非営利活動法人はかた夢松原の会）の活動に参加しました。その時は、天神地区にある幹線道路の歩道に放置されている自転車など諸問題について学習しました。

私が実際に歩いた道路は、大きな公園に隣接している道路でした。ある一人の参加者に、「ここは春になると桜が満開に咲いて美しく綺麗な場所なのよ。」と、私に教えてくれました。その時、私はある一つの新聞記事を思い出しました。それは大分県大分市を流れる大分川の堤防の整備について書かれているものでした。その記事の中で、私が興味を持った事が、景観を楽しむ憩いの場として堤防沿いに半円のサークルを数十メートル間隔で形成し、誰もが川を眺めたり休憩したり出来るように設けられた空間でした。

日本人には、昔から春になると満開に咲いた桜の下で花見をしたり、秋には紅葉を楽しむという習慣があります。私は、その習慣を大事にするためにも次のような提案をします。

その提案とは、大分川にも設置された半円のサークルを桜並木通りや紅葉が楽しめる道路に対して設置をし、より一層に景観を楽しもうと思わせる道路の計画をすることです。その場所には、自転車や単車などが容易に侵入してくることが出来ないような柵などを設置し、ただ単に景観だけを楽しむスペースとして市民に開放します。もちろん、ゴミ箱などは一切設置しません。

この事により、新たな観光スポットやデートスポットとして、有効利用されるのではないかと考えています。

